

2012年度事業報告書

2012年4月1日から2013年3月31日まで

特定非営利活動法人
ホームレス支援全国ネットワーク

(1) 事業の成果

2012年度の当法人は、以下の事業を実施した。その中でも特に、会員団体、有識者、厚生労働省との協働で新しい生活困窮者支援制度に関する調査報告書を発表できたことは大きな出来事であった。2012年8月の法延長に向けて、事業を更に進めていきたい。

(2) 特定非営利活動に係る事業

事業名	(ア) ホームレス状態にある人々に対する応急援護支援に関する事業
事業内容	【震災支援事業】 ◆ 事業内容 当法人の正会員が実施する福島における東日本大震災被災者の支援事業に対する財政的支援を行った。
実施場所	全国各地
実施時期	2012年4月1日～2013年3月31日
従事人数	多数
受益対象数	多数
支出額	2,838,453円

事業名	(イ) ホームレス状態にある人々への相談事業
事業内容	【当事者支援事業 (SOS 対応)】 困窮状況にある当事者からホームページ、メールや代表番号を介して SOS 連絡が入った場合、事務局を通じて当該地区の支援団体と連携し支援に当たった。
実施場所	全国各地
実施時期	通年
従事人数	15名
受益対象数	13名
支出額	21,663円

事業名	(ウ) ホームレス状態にある人々に対する就労支援に関する事業 (エ) ホームレス状態にある人々に対する住宅確保支援に関する事業 (オ) 地域生活の継続を支えるためのアフターケアに関する事業
事業内容	【地域生活安定化支援事業パイロット事業（2年目）】 居住生活を望む路上生活者や生活困窮者に対し保証人を提供し、また、居宅設置後の地域での生活が安定して継続できるように、同時に再ホームレス化することを防ぐために、継続した支援を行った。
実施場所	千葉、宮城、沖縄
実施時期	2012年4月1日～2013年3月31日
従事人数	6名
受益対象数	50名
支出額	16,465,429円

事業名	(カ) ホームレス状態にある人々の実情把握のための調査研究事業
事業内容	【生活困窮者へのステージに応じた伴走型支援を行う人材の在り方に関する研究事業】 地域の中で困窮・孤立状態にある者及び路上で生活する最困窮者層等への困窮状態に応じた必要かつ効果的な支援を実施するに当たり、その伴走的な支援を行う人材育成の在り方に関する研究を行った。
実施場所	北九州市、東京都、大阪府
実施時期	2012年6月29日～2013年3月31日
従事人数	17名
受益対象数	多数
支出額	26,813,000円

事業名	(キ) ホームレス状態にある人々の社会的処遇改善に資する広報・啓発事業
事業内容	【情報発信事業】 ホームページによる情報の発信を行った。
実施場所	事務局
実施時期	通年
従事人数	1名
受益対象数	多数
支出額	35,890円

事業名	(ク) ホームレス支援団体間のネットワーク・共同事業の推進事業
事業内容	【伴走型支援士育成事業】 不安定な居住状態にある者（アパートの退去を迫られている者、ネットカフェで寝泊りをする者、飯場・ドヤ等に居住する者、シェルターや無料低額宿泊所、ホームレス自立支援センターに入所する者）及び路上で生活する者の困窮状態に応じて必要とされる社会資源の活用をコーディネートし、伴走的な支援を行う人材の育成を行うことを目的に、「伴走型支援士2級認定講座」の実施および伴走型支援士の資格認定を行った。
実施場所	北海道、京都府、岡山県、事務局
実施時期	通年
従事人数	多数
受益対象数	232名
支出額	4,586,495円